

全てを受験に集中させる6月

片桐英数塾通信

自分の全てを一点に集中させる。
ただそれだけだ。

「もう暑くなってきたり、もう、あの寒かった受験の季節なんて、どこか遠い過去のお話でございまして、もう、思い出すのさえ難しくなってきたりします。もう、あの時の、あの塾生たちの笑顔や涙は、すっかり、過去のものとなってしまいました。そんな今、『合格体験談』なるものをせつせと編集しております。編集しておりますと、過去へと追いやられたあの受験の記憶が、生々しく息を吹き返し、脳裏に鮮明に蘇ってきます。

『合格体験談』を何度も読み返しておりますと、この『合格体験談』は受験に頑張った体験を書いたものなのですが、受験に合格した喜びよりも、もつと他に大切なことがあるということ、後輩たちに伝えようとしているように感じます。あの受験の中で、頑張りが随分と多い考えを育んでいたのです。

彼らも、受験勉強を始めた当初はそんな深い考えを持っていたわけではなく、思いつくままに、やがて、苦しみの中で頑張ることが、きつと人を大きく成長させるのでしょ



現在編集途中で、完成次第、配布します。どうか、彼らの思いを感じてください。

6月が来た…。たぶん、受験生の心を刺激するには、このフレーズだけで十分ではないでしょうか。それほどまでに、このフレーズは情け容赦なく、受験生にプレッシャーをかけてきます。受験の一点に集中して、学習を加速していく人が激増する。毎年のことですが、それが6月です。ああ、いよいよ大学受験のドラマが始まります。大学受験を、毎年、塾生と一緒に身と致しましては、本当に何となくですが、全く根拠という根拠の無いことですが、「おお、この子は大丈夫だろう。」とか「むー、ちよつと厳しいかな。」と感じることがあります。全てを完璧に予想することは無理ですが、それでも、割と予想的中率は高いように思われ、そのことで書いてみようかと思えます。

まず、最も「あ、大丈夫だな」と思えるタイプは、高1や高2の時から、とても早い時点で、志望する進路を決めている人です。そして、「何をやる?」「どうやる?」「いつやる?」とか、具体的な行動をイメージできている人です。このタイプの人は、実際、とても高い確率で志望校に合格しています。一方で、そうではない人は、どちらかと言うと多数派に思われるのですが、私なりに思うことを書き出してみます。

総体が終わり、しばらく総体の余韻に浸る人。まだ6月。どうしてもまだ時間があふると考えてしまふ。だから、総体が終わってもまだ時間があるから、ちよつとゆくりして「あら、こうなってしまう」と、受験生にとつても重要な意味を持つ夏を、十分に活用することはできない。受験が完全に後手に回り、特に秋以降、苦しむ人が多い。何かと言いつつ、現実を逃避しようとする人。言い訳の達人がいる。困ったことに、あまりに言い訳が上手なので、自分でさえた、それが言い訳だと思いついていない。よほど客観的に自分をみつめる能力がない限り、自分が言っていることには気づけない。よほど素直に自分の行動を見直す勇気がない限り、いつまでたっても行動には現れない。言い訳している限り、恐らく十分には伸びていかない。得意教科に得意になり、苦手教科に手がつかない人。一教科だけ、すくなく得点できる人がいる。その教科だけは誰にも負けない。負けたくない。だから、その教科には積極的に取り組む。その姿勢は間違えてはいない。だが、そういうタイプに多いのは、つい苦

手な教科を後に回してしまふことだ。受験とは、一教科だけが凄くても合格できない。むしろ、万遍なく得点できる方が、合格には近い。励まし合い競い合える友達を持つている人、傷をなめ合うだけの友達を持つてしまった人。大学受験における友人の意気は、とても大きい。ただ、その友人によつてはマイナスにしかならない場合もある。お互いに切磋琢磨しながら頑張る人、合っている人たちは、そのグループまとめて合格することとは珍しくない。しかし、お互いが出来なかったことを慰め合ひ、仕方がないと慰め合ひ合っている人たちは、残念ながら志望校合格からは遠ざかる。学校生活の思い出作りを最優先するタイプの人。親一生活はとても楽しい。だから、残り少ない時間を、友人とともに最高の思い出に変えようとする。これは悪いこととも言えない。ただ、自分のすべきことよりも、思い

小学6年生特別授業 6月8日(土)スタート!!

君たちの可能性は無限大!! 『わからないことがわかった!!』『できなかったことができるようになった!!』それが少しずつ積み重なって、大きな夢が実現できます。『わかった!!』『できた!!』をたくさん経験すれば勉強が楽しくなってきます。その学習習慣を今から一緒に身につけていきましょう!! 毎週土曜日(月4回)開講!!
詳しいお問い合わせは坂本教室まで!!

合格体験談 ～先輩からのメッセージ～

2013年度入試における塾生合格体験談より一部抜粋してご紹介します。

大阪大学 人間科学部合格 K.Kくん

合格してまず最初に感謝したいのは、僕と一緒に自習室に通っていた友達です。才能や努力などと無縁な自分の合格は、彼らなしではありえなかったです。夏休み前に毎日やることのノルマをつくりました。「苦しい時こそ、その人の本当の実力が出る!」この言葉を思い出しながら弱い自分に打ち勝とうと勉強に打ち込みました。

高知県立大学 看護学部合格 S.Nさん

苦手科目に映像授業をたくさん活用しました。特に古文が分かりやすく、語呂あわせとかもあって覚えやすかったです。片桐塾は、とても居心地がよく、自習やサテライトなど勉強環境も充実していて、ちゃんと勉強に励むことができました。先生方も丁寧に教えてくれたり相談に乗ってもらったりとても頼りになりました。片桐塾の塾生でいられて、本当に良かったと思います。

岡山大学 文学部合格 T.Kくん

受験勉強は僕が想像していたよりも苦しいものでした。たまに楽しいこと、嬉しいこともあるけど、つらいこと、苦しいことのほうが圧倒的に多いです。だけど、これから受験に向かう皆さんには、目標があるなら逃げないでほしいと思います。勉強を後回しにしないでください。あと、受験生活での友だちの存在は大きいです。競い合ったり、励ましあったりする友だちを大切にしてください。

東京農工大学 工学部合格 K.Sくん

片桐塾で勉強して感じていたことは、片桐塾には志が高い生徒が多いな、ということです。ただ点数が取れば良いというのではなく、真に実力がついているか、社会に出て通用するかということを考えている人が多いように思います。あと、決して感謝を忘れない。片桐の塾生として勉強ができたことを誇りに思います。

神戸大学 工学部合格 S.Yくん

第一志望は入学時には決めていました。大学によって傾向が違うので志望校は早く決めたほうが良いです。勉強するときは、集中して。携帯は預けてなるべく使わないようにしていました。塾で共に助け合える友達ができたのでよかったです。また、塾の先生方には、勉強面はもちろん、それ以外の悩みについても相談できたので心強かったです。

県立広島大学 保健福祉学部合格 M.Fさん

大学に合格し「言語聴覚士」となるという素敵な道へ踏み出せたことが嬉しかったです。サテライトでは数学と地理をとっていました。どちらもすごくわかりやすかったです。それと、eラーニングのkaelの化学をしていました。家でいつでも見れたり、板書を印刷できたりするので、とても便利でした。



坂本教室からのお知らせ

坂本教室の6月の休日は、
2日(日)、9日(日)、16日(日)、23日(日)、30日(日)です。

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

HPアドレス <http://www.katagirijuku.com>
メールアドレス katagirijuku@docomo.ne.jp